

どうなる？

医療費助成

継続審査

「子ども医療費高校卒業相当の年齢まで完全無料化を求める請願書」2件、「自立支援医療（精神通院）対象者の医療費助成を求める請願書」、および「子ども医療費助成を18歳年度末まで支給を求める決議について」の決議が提出されました。

しかし、自立支援の補助金の対象者が子ども医療費を使用することによって、本来、国県が負担する分を市が負担している可能性があり、どうすれば解消できるのかなどを調査研究する必要があるため、全て継続審査としました。その際の意見を紹介します。

子ども医療費高校卒業相当の年齢まで完全無料化を求める請願書

【意見】 自立支援医療などで国や県で負担すべき医療費助成分を市が子ども医療費として負担している可能性がある。今後、引き続き国や県に対しての要望なども含めて検討すべきではないか。調査研究の必要があると認識し、継続審査でお願いしたい。

【意見】 海部地域でも、子ども医療費の高校卒業までの無料化を求める取り組みが行政の中で進んできている。あわせて、継続審査を言う人たちも含め、18歳年度末まで無料にしてほしいという要望を市に出したのに、調査が必要という考え方は全く理解できない。全会一致で進めていく内容なので、採択していくのが必要だと思う。

【意見】 内容的には進めてほしいと思っていたが、支出がはつきりしないので慌ててやる必要もないと思う。継続審査としてしっかりと勉強して、採択したほうがいい。

【意見】 基本的には賛成せざるを得ない立場にある。市にお願いにも行っているもので、当然そういうつもりでいたが、不透明な部分が出てきた市から払わなくてもいい

お金がある可能性があることを何らかの形で研究し、それから意見書などで国にお願いをしてからでもいいと思う。疑義がない形で賛成するための研究時間が欲しいので継続審査にしたい。

【意見】 子ども医療費の内容の透明・不透明という点と、医療費の高校卒業相当の年齢までの完全無償化はイコールではなく、あくまでも対象年齢を引き上げるという話なので、継続審査ではなく、はつきりさせるべきことだと感じる。

【意見】 何をどう調査するかを明確にしなければならぬのではないかと。18歳までが妥当かどうかを調査するのか、自立支援医療と子ども医療の関係で調査するのか、何をどう調査するかを明確にしないと、継続審査

と言う人たちは責任持てないんじゃないか。



自立支援医療（精神通院）対象者の医療費助成を求める請願書

【意見】 精神にハンディのある人々は、経済的な負担が病状にもたらす影響が非常に大きい。自立支援医療の無料化は54自治体中、2021年4月に実施していないのは、名古屋、岡崎、大治、蟹江、飛島、あまという状況。無料化していくことは時代の流れ。ぜひ、この請願書を採用していただくのではないかと。

【意見】 理由は先ほどと重複しているが、私も本来この請願に反対しているものではないが、調査研究をすべきであると思うので、継続審査をお願いする。

【意見】 調査研究と言ったら、どこを、何を、どうするかということ、明確にしないといけないのではないかと。

【意見】 6月議会を指して議会として意見書などを含めた議論が必要ではないかと。



ロシアによるウクライナ侵攻に対し、 抗議する決議



世界の恒久平和を目指し、
「平和都市」を宣言するあま市の議会として、
武力による現状変更を行おうとするロシアの蛮行は、
決して看過できない問題です。
よって、ロシアによるウクライナ侵攻に対し、
抗議する決議を可決しました。

ロシアによるウクライナ侵攻に対し抗議する決議

隣国ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう断じて容認することができない暴挙である。ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ、現地在留邦人は緊迫した状況のなか、安否確認の対応に追われる等厳しい状況におかれている。

武力によるロシアの攻撃は、ウクライナへの重大な主権侵害であり、一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反である。国際秩序の根幹を揺るがすとともに、我が国の平和と安全をも脅かすもので、断じて看過できない。

世界の恒久平和を目指し、「平和都市」を宣言するあま市の議会として、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議の意を表し、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を強く求める。

また、政府においては、現地在留邦人の安全確保に努め、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図ることを求める。

以上、あま市議会の総意として決議する。

令和4年3月9日

愛知県あま市議会